

2022年度予算要望に対する懇談会開催

党議員団は日本共産党西宮芦屋地区委員会と共同で、市の新年度予算編成に間に合うようにと、毎年8月末から9月はじめに市長に予算要望書を提出しています。この提出前には議員団で議論をしますが、それに先立つ7月31日、西宮勤労会館において市民団体や市民の皆さんからご意見などを伺う予算要望懇談会を開催しました。以下、主な意見。

懇談には「新日本婦人の会西宮支部」「全日本年金者組合西宮支部」「民間保育園」「西宮の教育を考える会」「21世紀の武庫川を考える会」「西宮革新懇」などの団体とともに、個人としての参加もあり様々な要望などが出されました。

コロナ対策

昨年来続くコロナ対策において、特に第4波とされた5月頃に、熱が出てもなかなかPCR検査を受けられずに、一定の年齢以上は検査をさせないような対応があったのではないかと。1月に感染したが、パルスオキシメーターの貸し出しをしていなかった(現在市は約1000個の貸し出し可能台数を確保)。保育所で感染があったが、希望者の検査をしてもらえず、自費での検査をせざるを得なかったなどの声が出されました。この問題は党市議団が一貫して求めている幅広いPCR検査の必要性を改めて示すもので、新年度というよりも、引き続き強く求めていく課題となっています。

健康ポイント事業など

高齢者交通助成制度に変わる取り組みとして、健康ポイント事業やバス運賃助成事業申し込みの案内が対象者に送られています。ところが、この事業についてあちらこちらで問題ありの声が出ていることが浮き彫りに。健康ポイント事業では健康で歩ける人のみが対象になることや、ポイント還元事業委託先が「(株)タニタ」主導で進められているイメージ。バス運賃助成事業ではバス路線がない交通不便地域などの人が利用できないなど、見直しを求める声が複数出されました。

教育委員会

国が少人数学級に向けて動き出したがスピード感がない。航空機騒音対策で以前に設置されたエアコンの早期更新やトイレの洋式化に加え、生理用品を学校のトイレに置いてほしいなどの要望が出されました。

保育所と学童保育

昨年、コロナ感染予防対策などで国や市の支援金が



懇談会の様子

ありましたが、分園は本園と一体という事で本園分しか支給されなかった。分園も一つの園として対応してほしい。昨年導入された「特区保育所」についての情報が不足している。学童保育では指定管理者の責任の所在があいまいな施設があることや、夏場のクーラーの効きが悪い施設があるなどの声が出されました。

防災

この7月に起きた熱海市での土石流被害。盛土が要因だったことから、市でも、盛土地域の再点検とともに、豪雨対策としての雨水貯留管整備などをさらに急ぐ声が出されました。

その他

その他では、税金の減免の在り方の改善、神戸市で行っているお悔やみコーナーの設置、来年度から実施予定のごみ指定袋制の周知の不十分さとともに、袋購入における負担軽減の声なども出されました。

また、党議員団が長年取り上げてきた西宮浜の跳ね橋の開閉について、住民が待たされる回数が減ることになって運動が前進していると、地域で喜びの声が上がっていることの報告もありました。

**予算要望書は8月31日に提出予定。
今後、議会終了後に市政報告・懇談会を行う予定です**